

GREEN×EXPO 2027 横浜市出展 横浜市民活動フィールド実行委員会
第1回総会 議事録

日時	令和8年2月4日（水）13時30分～14時00分
場所	横浜市役所 18階 会議室みなと1・2・3
出席者	<p>横浜市副市长 平原 敏英／横浜市みどり環境局（局長） 鈴木 貴晶／脱炭素・GREEN×EXPO 推進局（担当部長） 池上 省吾（代理）／横浜市町内会連合会委員（瀬谷区連合町内会自治会連絡協議会（会長）） 高岩 敏和／高島中央公園愛護会（会長） 横浜市公園公民連携推進委員会 松本 道雄／よこはま緑の推進団体 代表 樋上 祐造／横浜農業協同組合（チーフマネジャー） 飛鳥 敬祐（代理）／公益社団法人 日本家庭園芸普及協会（専務理事） 西川 嘉輝／一般社団法人 横浜市造園協会（会長） 田澤 重幸／公益財団法人 横浜市緑の協会（常務理事） 荒原 伸治</p> <p>旭区役所（副区長） 田畑 哲夫／瀬谷区役所（副区長） 富永 裕之 （敬称略）</p> <p>GREEN×EXPO 2027 横浜市出展 横浜市民活動フィールド実行委員会</p>
議題	GREEN×EXPO 2027 横浜市出展 横浜市民活動フィールド実行委員会第1回総会
次第	<p>1、開会</p> <p>2、議事</p> <p>（議案第1号） 令和8年度事業計画・収支予算（案）について</p> <p>3、閉会</p>
内容	<p>1、開会</p> <p>事務局より、会則第10条および第11条に基づき総会の成立が確認され、配布資料（議案第1号、事業計画書）の確認を行った。</p> <p>2、議事</p> <p>（議案第1号） 令和8年度事業計画・収支予算（案）について</p> <p>事務局より、令和8年度の事業計画案および収支予算案について説明を行った。主な内容は以下のとおりである。</p> <p>● 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場演出としては、市内産植物を活用した横浜の魅力を伝える大花壇をはじめとしたフィールドを設営。 ・市民参加型企画（球根ミックス花壇、たねだんごづくり等）を開催。 ・「未来志向フィールド」では、環境活動団体のスキルアップにつながるプログラムとして、環境への適応力や再生力に優れた多年草を活用したサステナブルな花壇、誰もが人が関われるまちを彩る多様なガーデンの姿を紹介するテーマガーデン、そして生活に「農」を取り入れる体験ができる菜園ingを整備。 ・一般来場者向けのプログラムとして、生活に農を取り入れるプログラムや、環境に関する多様

なテーマを体験的に学べるプログラム等のワークショップを実施。

- ・EXPO をきっかけとした次世代につながる教育プログラムとして、市内学校との連携によるブレインづくりの展開及び会期中の行事への参加の検討。
- ・ボランティア（ツアーガイド、フィールドづくり、プログラム運営補助）の募集・研修を実施。
- ・広報宣伝として、ホームページを開設、2026年5月に開催予定の横浜フラワー&ガーデンフェスティバル 2026 へのブース出展をはじめ、様々な機会を捉えた広報宣伝の実施。

● 収支予算

- ・収入：5億6,005万円（横浜市負担金1億6,000万円、横浜市緑の協会3億円、協賛金1億円、その他利息等5万円）
- ・支出：5億6,005万円（事業費5億4,805万円（会場演出費2億9,000万円、行催事費8,750万円、会場運営費1億6,055万円、広報宣伝費1,000万円）、総務費1,200万円）
- ・令和8・9年度総事業費は約14.5億円を想定。

● 意見・質疑

- ・会期中に来場された方が様々な体験をしていただくことになると思うが、それを会期後も横浜市内の市民活動のレガシーとして残していくことが重要だといえる。地域の中で活動している方たちにそのレガシーをどのように引き継いでいくのか意識してプログラムを検討していただきたい。
- ・学校連携のプログラムがあるとのことだが、参加だけではなく、子どもたちの学びの場として活動の理由やプロセス、活動がどのように環境につながっていくのか、そういったことを子どもたちが考えるきっかけになるようなプログラムにしていきたい。
- ・一緒に取り組んでいくプログラムの内容の具体化や調整は今後内容を詰めていただきたい。

質疑の後、議案について異議はなく、原案どおり承認された。